

基本方針1 バランスのとれた知・徳・体を育成します		
施策項目	施策の概要	関係課
(3) 健やかな体の育成	<b>④オリンピック・パラリンピック教育の推進</b> 主な取組 <b>ア 選手の育成強化・活用</b> ・ジュニアの育成からトップレベルに至る体系的な人材養成システムの構築やスポーツ環境の整備による選手の育成強化に取り組めます。 <b>イ アスリートとの交流やパラスポーツ体験等を通じたスポーツへの興味・関心・理解の促進</b> ・県内に事前キャンプ等に訪れるトップアスリートとのスポーツを通じた交流の促進を図ります。 ・各大会開催にあわせてパラスポーツ等の体験等ができる機会を設け、スポーツの楽しみを紹介していきます。	義務教育課 高校教育課 高校改革・特別支援教育課 スポーツ健康課 オリンピック・パラリンピック推進課
(4) 幼児期における質の高い教育の推進	<b>①幼児教育の充実</b> 主な取組 <b>ア 幼児教育の推進体制の充実</b> ・公立・私立の別や施設の種類を超えて、一体的な幼児教育推進体制の充実を図ります。 ・幼稚園、保育所、認定こども園の教員研修の充実を図り、教員や保育士等の指導力向上のための取組を推進します。 <b>イ きめ細かな指導の充実</b> ・園における生活の全体を通じ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を見通し、人格形成の基礎を培う心情、意欲、態度などを育むために幼児一人一人の特性に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。 ・幼稚園、保育所、認定こども園と、保護者、地域、専門機関との連携を促進し、幼児期における豊かな自然体験活動等の推進や家庭教育の充実、教育相談等の支援の充実を図ります。	義務教育課 高校改革・特別支援教育課 子育て政策課
	<b>②幼児教育と小学校教育との連携</b> 主な取組 <b>ア 幼児教育と小学校教育との円滑な接続に向けた取組の推進</b> ・子供たちの発達や学びの連続性を踏まえた幼稚園・保育所、認定こども園と小学校との連携を進め、カリキュラムの検討、情報交換、子供たち同士の交流活動の実施等、幼児教育と小学校教育との円滑な接続に向けた取組を推進します。 ・小1プロブレムへの対応等、幼児教育から小学校教育への円滑な接続に向け、保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭の指導力向上に向けた取組と交流を促進します。 ・スタートカリキュラムの充実を図り、幼児期の学びと育ちを踏まえて、児童が主体的に自己を発揮できるような取組を推進します。	義務教育課 高校改革・特別支援教育課 私学・科学振興課 子育て政策課

### 3 目標となる指標

施策 項目 番号	指標	2017年度 の現況値	2023年度 の目標値
(1)	全国学力・学習状況調査の全国平均正答数との比較割合	小中〔99.6%〕	小中 100%超
(2)	「道徳教育推進運動実施状況調査」における「全学級で保護者や地域の方を対象に道徳の授業公開を実施している」学校の割合	小中 77.3%	小中 90.7%
(2)	「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」をもとにしたいじめの解消率 <sup>1</sup>	小中 99.1% 高 95.4%	小中 99.5% 高 98.8%
(2)	「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における学校内外の機関で相談・支援を受けている不登校児童生徒の割合	小中 70.8% 高 83.5%	小中 75.0% 高 87.5%
(3)	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における朝食を「食べない日が多い」「食べない」児童生徒の割合	小男子〔2.2%〕 小女子〔1.4%〕 中男子〔4.8%〕 中女子〔3.9%〕	小男子 2.0% 小女子 1.3% 中男子 4.6% 中女子 3.5%
(3)	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における授業以外でほとんど毎日（週 420 分以上）、運動やスポーツを実施している児童の割合	男子〔56.9%〕 女子〔34.0%〕	男子 59.0% 女子 37.0%
(3)	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における児童の体力合計点の全国体力合計点との比較割合	男子〔98.9%〕 女子〔99.1%〕	男子 100% 女子 100%
(4)	幼稚園、保育所及び認定こども園の意見を踏まえて小学校入学後のスタートカリキュラムを編成している小学校の割合	73.7%	100%

※〔 〕内の現況値は 2018 年度数値です。

<sup>1</sup> 翌年度 6 月末までに解消した件数の割合

基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します

1 施策の方向

- 地域の特色を生かした学校教育を推進し、我が国と郷土に誇りを持ち、他国を尊重する態度を養うとともに、国際的視野で考え、様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組み、持続可能な社会づくりに参画する態度を育成します。
- 小・中・高等学校を通じて、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に表現したりすることができる資質・能力や、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。
- 児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要に各教科等の特質に応じたキャリア教育の充実を図ります。
- 教科等横断的な調和のとれた学習を通して、理系や文系の枠にとられない幅広い知識と教養を身に付けることにより、問題を発見し解決する能力を育成します。
- 総合的な学習の時間または総合的な探究の時間を通して、探究的な見方・考え方を働かせることで、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えるための資質・能力を育成します。
- 高校生が大学や企業等の最新研究や高度な技術に触れる機会を通して、学習意欲の向上を図り、生徒の資質・能力の伸長に努めます。
- 県民が夢や希望を持ち、健康で活力ある生活が営めるよう、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」楽しみが味わえる競技スポーツの推進を図ります。
- 文化芸術の振興と県民の文化力向上のため、文化芸術活動を行う個人や団体の交流を促進し、活動の拡大や次世代の育成を図ります。

「持続可能な開発目標」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



国連持続可能な開発サミット（2015年）で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標

## 2 施策の内容

基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します		
施策項目	施策の概要	関係課
(1) グローバルに 活躍する人材 の育成	<b>①伝統や文化等に関する教育の推進</b> 主な取組 <b>ア 郷土学習の充実</b> ・郷土学習教材「ふるさと山梨」を活用した郷土学習を推進し、児童生徒が郷土山梨への関心と理解を深め、郷土を愛し、郷土に誇りを持てるような心を育みます。 ・「ふるさと山梨」郷土学習コンクールや郷土学習実践研究発表大会を実施し、児童生徒の郷土学習に対する意欲の向上や学習の成果の交流を図ります。 ・学習教材「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」に沿った富士山の文化的価値の学びを通じて、富士山や郷土を大切に作る心を育みます。 <b>イ 伝統・文化に関する教育の推進</b> ・高等学校において、各教科等の探究活動の中で伝統・文化に関する教育を推進します。 <b>ウ 「おもてなし」の心を育む教育の推進</b> ・地域の伝統や文化を学ぶ体験活動を通じて、郷土への誇りを醸成し、来県者への「おもてなし」の心を育みます。 <b>エ 文化芸術についての理解促進</b> ・芸術教科の特性を生かし、表現活動や鑑賞活動を通して文化芸術についての理解を深め、創造的な表現力と発信力を育みます。 <b>オ 伝統・文化に関する参加・発表機会の確保</b> ・地域や学校において、世界文化遺産、伝統・文化ならびに新たな文化の創造に関する活動を推進するとともに、参加・発表する機会を確保します。 ・県高等学校芸術文化祭等への参加増員を図り、文化活動の一層の活性化を進めます。 <b>カ 地域の優れた指導者等との連携（再掲）</b> <b>キ 博学連携の推進</b> ・芸術に関する感性を育み、郷土の歴史と文化への理解を深めるため、県内文化施設等の利用促進を図り、学校と連携した博学連携を推進します。 <b>ク 地域の担い手育成拠点づくりの促進</b> ・地域に根ざした伝統・文化、歴史、環境、産業等について、課題を追究したり解決したりする活動を通じて、地域の創り手の育成を図ります。	義務教育課 高校教育課 高校改革・特別支援教育課 社会教育課 学術文化財課 世界遺産富士山課
	<b>②英語をはじめとした外国語教育の推進</b> 主な取組 <b>ア 異校種間の連携</b> ・小・中・高等学校及び特別支援学校間において外国語教育の連携を図り、各学校段階の学びを接続させながら、外国語によるコミュニケーション能力を育成します。（再掲）	義務教育課 高校教育課 高校改革・特別支援教育課

基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します		
施策項目	施策の概要	関係課
(1) グローバルに 活躍する人材 の育成	<b>イ 学習到達目標を明確にした授業づくり</b> ・外国語活動及び外国語科の学習において、各単元で「CAN-DO リスト」形式により、学習到達目標を明確にします。(再掲) ・外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けて、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の学習到達目標に応じた授業づくりに取り組みます。(再掲)	義務教育課 高校教育課 高校改革・特別支援教育課
	<b>③国際バカロレア教育等の推進や日本人生徒・学生の海外留学支援</b> 主な取組 <b>ア 国際バカロレア教育の推進</b> ・国際バカロレアのプログラムに沿い、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、よりよい、より平和な世界を築くことに貢献する探究心や知識を持ち、思いやりに富んだ生徒の育成を図ります。 <b>イ グローバル人材の育成</b> ・豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神を身に付けた、国際的に活躍できるグローバル人材を育成します。 ・グローバル人材の育成に向け、産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、グローバルな課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進します。 <b>ウ 海外留学等の充実</b> ・海外留学に必要な実践的なコミュニケーション能力を育成するための外国語教育を推進するとともに、海外留学等を体験する高校生の数の増加を図ります。 <b>エ スポーツ・文化芸術活動による交流の促進</b> ・スポーツや文化芸術活動を通じて次世代を担う青少年の国際交流を促進します。	高校教育課 スポーツ健康課 私学・科学振興課
(2) キャリア教育の 推進	<b>①キャリア教育・職業教育の推進</b> 主な取組 <b>ア 体系的・系統的なキャリア教育の推進</b> ・家庭や地域住民、企業や関係諸機関との連携の下、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、小学校から発達段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。 <b>イ 指導計画の作成</b> ・社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けられるよう、特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じ、学校の特色を生かしたキャリア教育の指導計画を作成、実践します。 <b>ウ 一貫した進路指導の実現</b> ・各学校段階での児童生徒の実態を把握する中で、それぞれの発達段階に即した進路指導の目標等の設定を行い、一貫した進路指導を実現する異校種間の連携システムの構築を図ります。	学校施設課 義務教育課 高校教育課 高校改革・特別支援教育課 総合教育センター

基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します		
施策項目	施策の概要	関係課
(2) キャリア教育の 推進	<b>エ 関係機関との連携</b> ・小学校での職場見学、中学校での職場体験、高等学校での就業体験、特別支援学校における産業現場等における実習では、発達段階に応じた目標や取組になるように、異校種や企業等の関係機関と連携を図ります。 <b>オ 異校種間の連携</b> ・出前講座、公開授業、進学説明会による異校種間連携を通じ、進路学習や自己の将来を考える機会を提供します。 <b>カ 研究協議会の開催</b> ・キャリア教育研究協議会を開催し、指導計画の作成に関する協議や演習を行うとともに、教員の指導力向上に取り組みます。 <b>キ 高等学校における取組</b> ・学校の中では体験できない多様な社会体験を通して探究的な学びを実現し、キャリア教育を一層充実していきます。 ・農業系高校と商業系高校が行う地域社会と連携した取組を通して、地域資源の有効活用と地域社会の活性化に貢献する生徒を育成します。 ・地域産業を支えるものづくり人材の育成のため、工業系高校生が企業現場で、直接、技術者から実践的な指導が受けられるよう取り組みます。 ・山梨県産業技術短期大学校との連携を推進し、生徒に確かな技術力を身に付けさせ、技能検定等の資格取得者数の増加を目指します。 ・山梨県の基幹産業である機械・電子産業界に人材を送り出すため、機械・電子の知識・技術・技能等をより深く学ぶことができる甲府工業高等学校全日制専攻科を2020（令和2）年4月に設置します。 <b>ク 設備の整備</b> ・理科及び算数・数学教育の充実を図るため、必要な設備を整備します。（再掲）	学校施設課 義務教育課 高校教育課 高校改革・特別支援教育課 総合教育センター
	<b>②学校から社会への接続支援</b> 主な取組 <b>ア 就職支援等</b> ・山梨労働局や企業団体等の関係機関と連携して、就職のミスマッチを防ぐため、職場体験やインターンシップの充実を図ります。 ・企業訪問による採用拡大や就業環境の改善、ハローワークやジョブカフェ、若者サポートステーションを活用した職業相談の充実を図るなどして、就職を支援していきます。	義務教育課 高校教育課 高校改革・特別支援教育課 労政雇用課
(3) イノベーション を牽引する人材 の育成	<b>①優れた才能・個性を伸ばす教育の推進</b> 主な取組 <b>ア 理数教育・情報教育の充実</b> ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校等を拠点とし、先進的な理数教育・情報教育を受ける機会を提供します。 ・甲府工業高等学校全日制に専攻科を開設し、高度な知識・技能を身に付けた即戦力となる人材を育成します。 ・大村智自然科学賞の表彰を通して、中学生・高校生等の理科・	学校施設課 義務教育課 高校教育課 高校改革・特別支援教育課 総合教育センター

基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します		
施策項目	施策の概要	関係課
(3) イノベーション を牽引する人材 の育成	<p>数学及びこれらに関連した分野に対する興味・関心や知的探究心をより一層高めるとともに、新しい才能や可能性を発見し、先端科学技術の発展に寄与できる人材の育成を図ります。</p> <p><b>イ 論理的な思考力や科学的に探究する力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会と授業とを関連付け、身近にある科学に気付かせることにより、学ぶ意欲や関心を高めるとともに、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、課題解決的な学習を通じて、論理的な思考力や科学的に探究する力を育成します。(再掲)</li> </ul> <p><b>ウ 分かりやすい理科の授業の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導方法についての専門的な研修等による教員の資質・能力の向上や地域の人材を活用した理科授業の支援を通じ、より分かりやすい授業を工夫します。</li> </ul> <p><b>エ 科学に関する興味関心の喚起</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「科学の甲子園ジュニア」山梨県大会を開催し、中学生の科学に関する興味関心の喚起を図ります。(再掲)</li> </ul> <p><b>オ 先進的な理数教育を受ける機会の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>科学好きな県内高校生が集って競い合い、活躍できる場として「科学の甲子園」山梨大会を開催し、科学に興味関心を持つ高校生の裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばしていきます。(再掲)</li> <li>大学や研究機関・企業・県立科学館との連携を深め、最先端の科学技術や研究に触れる機会を提供し、科学への関心を高めます。また、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校を拠点とし、その成果を県内の小・中学校に還元し、先進的な理数教育を受ける機会を提供します。(再掲)</li> </ul> <p><b>カ 言語活動の充実(再掲)</b></p> <p><b>キ 問題発見・解決能力の育成(再掲)</b></p> <p><b>ク 設備の整備(再掲)</b></p>	<p>学校施設課</p> <p>義務教育課</p> <p>高校教育課</p> <p>高校改革・特別支援教育課</p> <p>総合教育センター</p>
	<p><b>②やまなしのものづくりを担う多様な人材の育成</b></p> <p>主な取組</p> <p><b>ア 高等教育機関、専修学校等や企業等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高等教育機関等や試験研究機関及び企業との連携を深め、最先端のものづくり技術に触れる機会を提供することで、本県の基幹産業を牽引する人材を育成します。</li> <li>スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）指定校の甲府工業高等学校において、社会の変化や産業の動向等に対応し、高度な知識・技能を身に付けた、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成します。</li> </ul> <p><b>イ 若手研究者の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若手研究者の研究意欲を喚起し、本県の産業振興や地域活性化を担う優れた研究者の持続的な育成を図るため、研究に対する経費を助成します。</li> </ul> <p><b>ウ ものづくりに関する興味関心の喚起、裾野の拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親子ものづくり体験や地域と協働した商品開発等を通じて、ものづくりへの興味関心を持つ子供たちの裾野の拡大を図ります。</li> </ul> <p><b>エ 高等学校における取組(再掲)</b></p>	<p>義務教育課</p> <p>高校教育課</p> <p>高校改革・特別支援教育課</p> <p>私学・科学振興課</p> <p>産業人材育成課</p>

基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します		
施策項目	施策の概要	関係課
(3) イノベーション を牽引する人材 の育成	<b>③起業家教育の充実</b> 主な取組 ア 起業家教育の充実 ・新しい価値の創出に挑む起業家精神を持つ人材の育成に向け、地域や企業、外部機関と連携・協働した起業家教育の充実を図ります。	義務教育課  高校教育課  高校改革・特別支援教育課
	<b>④IT・データ活用能力の育成</b> 主な取組 ア 情報活用能力の育成（再掲） イ 異校種間の連携の推進 ・より高度にプログラミングを学びたい児童・生徒等が地域のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の出前授業等を活用して発展的に学ぶことができる環境づくりを推進します。 ウ 県と県内大学等との連携 ・大学、専修学校等と連携・協働して、AIなどの先端分野や専門分野の公開講義、出張講座等を実施し、学習意欲を高める機会を提供します。	義務教育課  高校教育課  高校改革・特別支援教育課  総合教育センター  産業人材育成課
	<b>⑤社会人の学び直しの支援</b> 主な取組 ア 実践的・専門的な教育プログラムの提供（後掲） イ 情報発信の質の向上（後掲）	私学・科学振興課  生涯学習文化課  産業人材育成課
(4) 大学等の高等教育の振興	<b>①高大接続改革の着実な推進</b> 主な取組 ア 高大接続改革への対応の推進（再掲）	高校教育課  高校改革・特別支援教育課
	<b>②高等教育機関の連携等</b> 主な取組 ア 県や産業界及び県内大学等との連携の強化 ・大学や企業の最新の研究や高度な技術に触れることを通じ、生徒一人一人の能力の伸長に努めるとともに、学習意欲の向上を図ります。 ・県と県内大学等との連携を強化し、効果的な連携事業を通じて、地域で活躍する人材育成や地域活力の向上を図ります。 イ 国公立の枠を超えた大学間の連携の推進 ・大学コンソーシアムの活動を支援し、大学間の連携を推進することで大学等の特色ある発展を図ります。	高校教育課  私学・科学振興課  産業人材育成課
	<b>③山梨県立大学の振興</b> 主な取組 ア 山梨県立大学の振興 ・山梨県立大学が自主的・自律的な法人運営の下、地域のニーズや時代の変化に柔軟・的確に対応し、個性豊かな魅力ある大学となるような振興を図ります。	私学・科学振興課



基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します		
施策項目	施策の概要	関係課
(5) スポーツ・文化 芸術分野の人材 の育成	<b>① 次世代アスリートを育成する体制の強化</b> 主な取組 ア 競技スポーツの推進 ・県民に夢や希望を与え、健康で活力ある生活を営めるよう、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」楽しみが味わえる競技スポーツの推進を図ります。 イ 選手の育成強化・活用（再掲）	スポーツ健康課
	<b>② 芸術家等の養成、文化芸術振興策の推進</b> 主な取組 ア 文化芸術についての理解促進（再掲） イ 伝統・文化に関する参加・発表機会の確保（再掲） ウ 地域の優れた指導者等との連携（再掲） エ 博学連携の推進（再掲） オ 文化芸術活動を行う個人や団体の育成 ・芸術家と子供たちの交流事業や優れた文化芸術作品の鑑賞の機会等を通して、豊かな創造力や感性、表現力などの育成に取り組みます。 ・文化芸術の振興と文化力の向上のため、文化芸術活動を行う個人や団体の交流を促進し、活動の拡大や次世代の育成を図ります。	義務教育課 高校教育課 高校改革・特別支援教育課 社会教育課 学術文化財課 生涯学習文化課

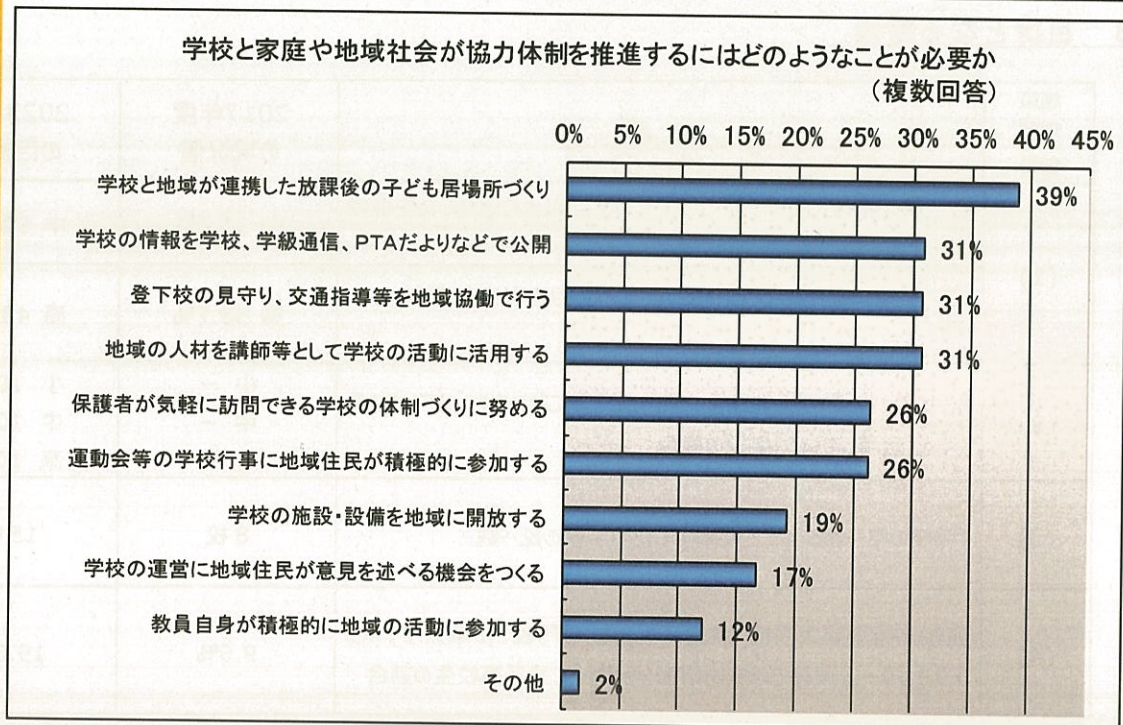
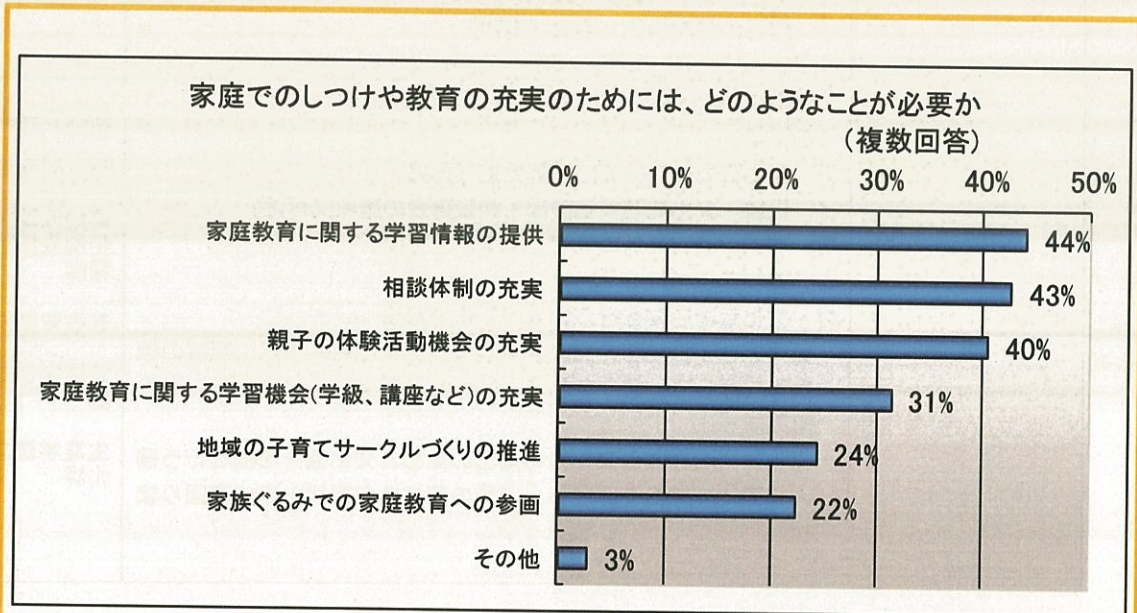
### 3 目標となる指標

施策項目番号	指標	2017年度の現況値	2023年度の目標値
(1)	中学校卒業段階で CEFR A1 レベル相当以上を達成した生徒の割合	中 36.3%	中 50.0%
	高等学校卒業段階で CEFR A2 レベル相当以上を達成した生徒の割合	高 38.7%	高 43.0%
(2)	キャリア・パスポートの利活用に関する調査においてキャリア・パスポートを「活用している」学校の割合	小 - 中 - 高 -	小 100% 中 100% 高 100%
(3)	「科学の甲子園ジュニア」に参加した中学校の延べ数	8校	15校
(4)	産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、山梨大学、ポリテクセンター山梨等での技術研修を受けた工業系高校生の割合	9.6%	19.6%

基本方針3 学校・家庭・地域による教育を推進します

1 施策の方向

- 子育てについて学ぶ機会の提供や、地域で子育てを支援する人材育成を進め、家庭や地域の教育力向上を図ります。
- 学校・家庭・地域が、よりよい学校教育を通じてよりよい地域を創るという目標を共有し、各主体が連携・協働する体制づくりを推進します。



出典：平成30年度やまなしの教育に関するアンケート調査(山梨県教育委員会)